

ポリエンド シンセ 必需品

必須参考資料のコレクション

ポリエンドシンセ

概要

Synth はマルチエンジンのポリフォニック シンセサイザーです。Synth は最大 3 つのシンセ エンジンで動作し、それぞれ利用可能なエンジン タイプから選択できます。一部のエンジンは、Polyend Tracker および Play ファミリのデバイスで考案されているため、馴染みのある要素を備えています。

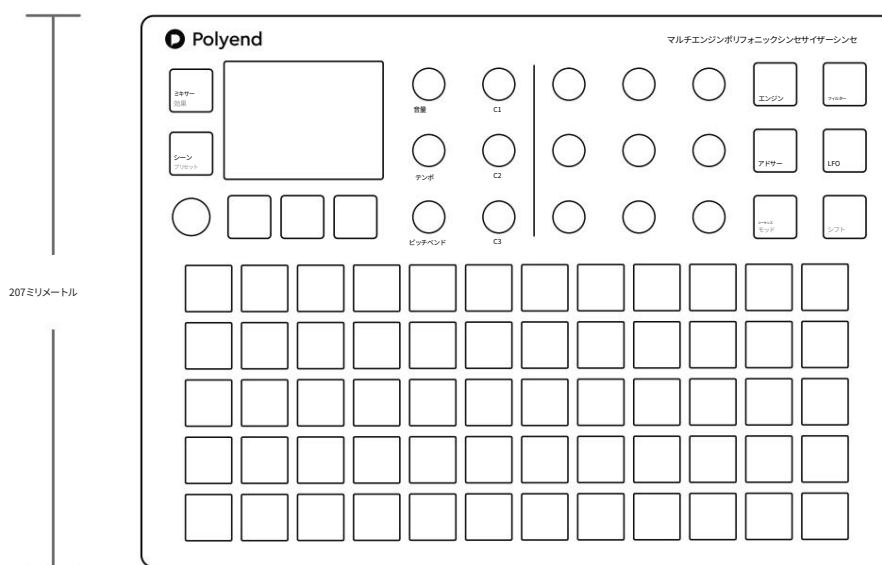
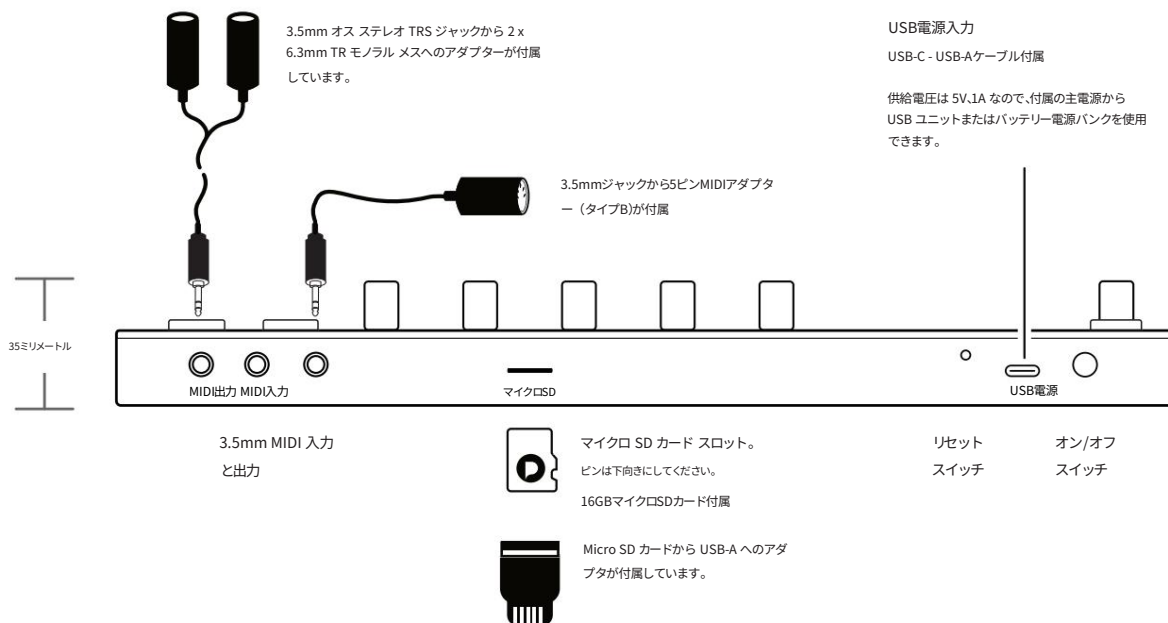
その他にも新しい機能があり、サウンドの可能性をさらに広げています。シンセのワークフローと構造は「シーン」を中心に展開されます。シーンとは、サウンドとパターンを作成するプリセット、マクロ、設定、エフェクト、パラメータなど、すべての要素の集合です。

これらは、より大きく、より完全な作品を組み立てるためのライブ ラリ内に自己完結型の関数として保存されます。

シンセの基本

ハードウェアの概要

3.5mm ステレオ オーディオ出力はヘッドフォン出力としても機能します。



シンセの基本

注記

起動する

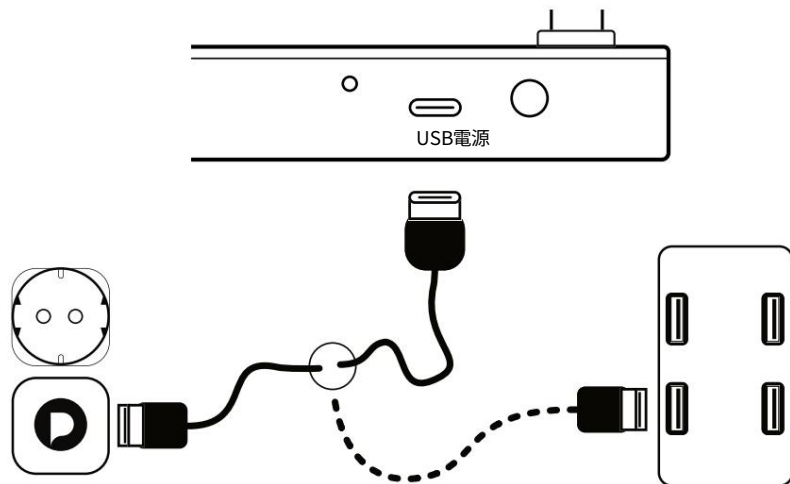
Synth は低電力ユーザーなので、付属の USB 電源アダプターまたは充電式バッテリー パワーバンクから電源を供給できます。Synth を再起動すると、以前に開いていたプロジェクトが再度開きます。

■ シンセの電源オン/オフ

1. 付属のUSB-C電源ケーブルをSynthと
付属の USB プラグ。また、Synth はポータブル USB パワー バンク* でも動作します。
Synth には 5V、1A 定格電源が必要です。
2. Synth が動作するために SD カードが正しくインストールされていることを確認します。
3. 背面左側（上から見て）にある小さな電源ボタンを素早く押します。Synth が起動し、以前のプロジェクトが再度開きます。
4. 電源をオフにするには、背面左側（上から見て）にある小さな電源ボタンを、「電源オフ」メッセージが表示されてタイマー バーが終了するまで押し続けます。Synth の電源がオフになります。

供給は、付属の主電源から USB アダプターに 5V、1A が供給されます。

マイクロSD

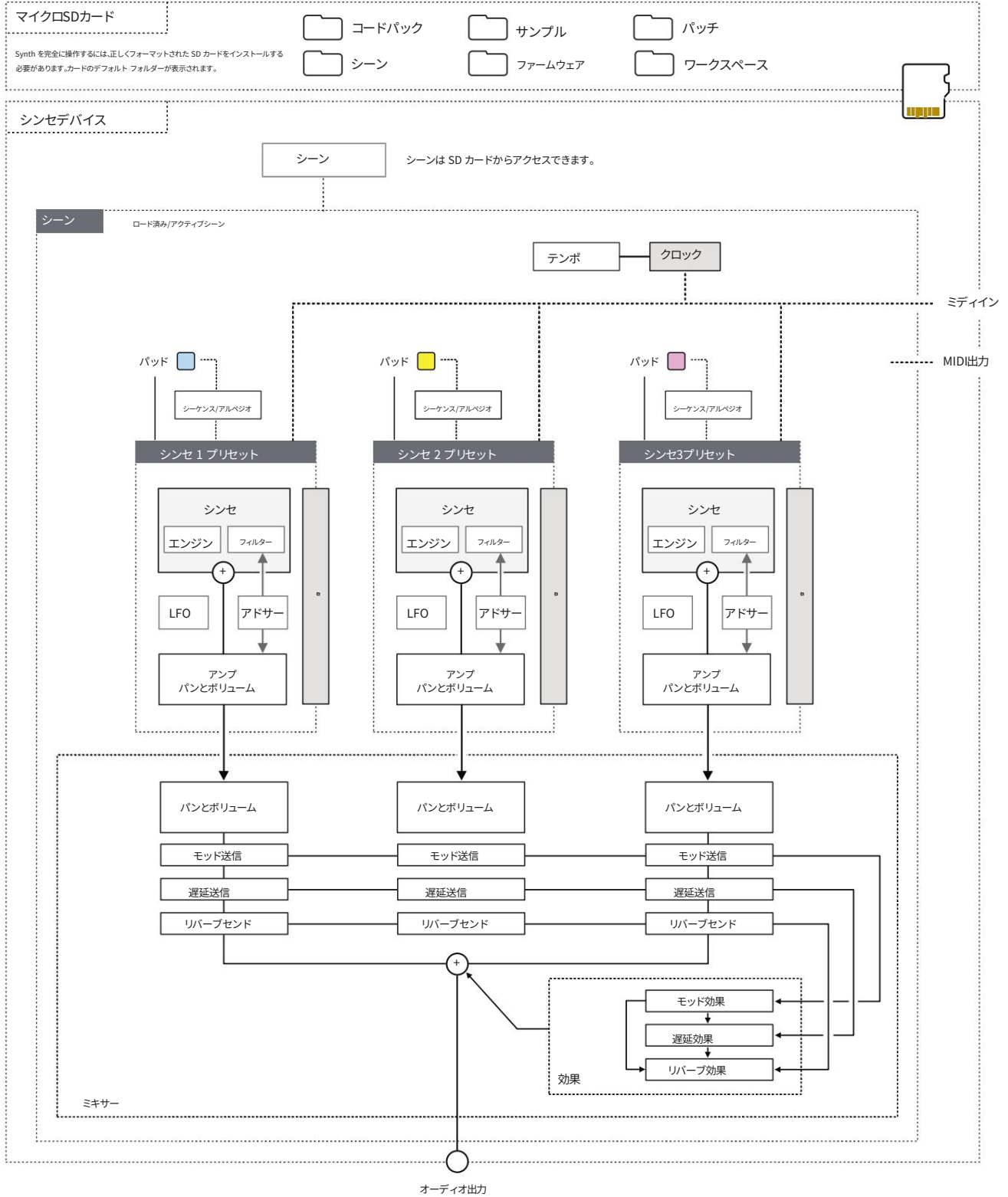


あるいは、バッテリーパワーバンクを使用してください。
起動時の瞬間電流は約1.2A。通常状態では約0.5Aです。

* Polyend では、スマート機能のない標準のパワーバンクの使用を推奨しています。インテリジェント/スマート パワーバンクまたは PC/Mac 電源には、Synth に必要な継続的な供給を妨げる機能がある場合があります。USB-C から USB-A へのケーブルが付属しています。

シンセの基本

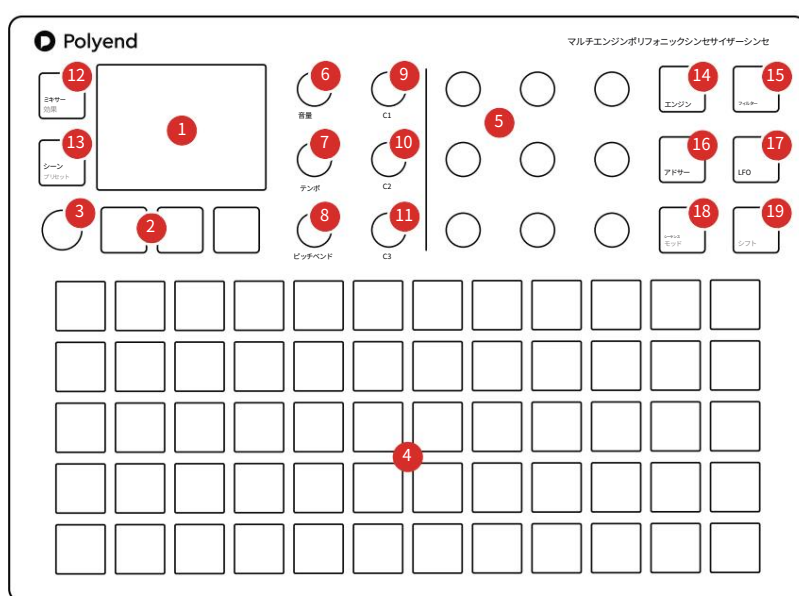
シンセオーディオ構造



図は単線図であり、ガイダンスのみに使用されます。これは詳細な回路図ではなく、ステレオチャンネルは示されていません。

シンセの基本

- 1 LCDディスプレイ
高解像度ディスプレイ。
- 2 シンセエンジン / マルチファンクションボタン
各 [Screen] ボタンは、3 つのシンセ エンジンのいずれかを選択するか、機能メニューで定義されたオプションを選択します。
- 3 多機能スクリーンノブ
クリック可能なエンコーダー。クリックしてメイン メニューを選択します。
回すとシンセ機能ページが切り替わります。(画面)
- 4 グリッドパッド
5 x 12 シリコン [パッド]、3 つのシンセ エンジンの演奏と制御用に構成可能です。
- 5 パラメータノブ
9 つのダイナミック ノブは、画面に表示される機能のそれぞれのパラメータセットを制御します。
- 6 マスターボリューム
プライマリマスター (Vol)dBレベルの制御。
- 7 テンポとスイング
グローバル (テンポ)を調整します。範囲は 10 ~ 400 ビート/分です。Shift キーを使用してスイングを 25% ~ 75% に調整します。
- 8 ピッチベンド
ノブを回している間のみ、(ピッチベンド)値を -100から+100に調整します。ノブを離すと0にリセットされます。



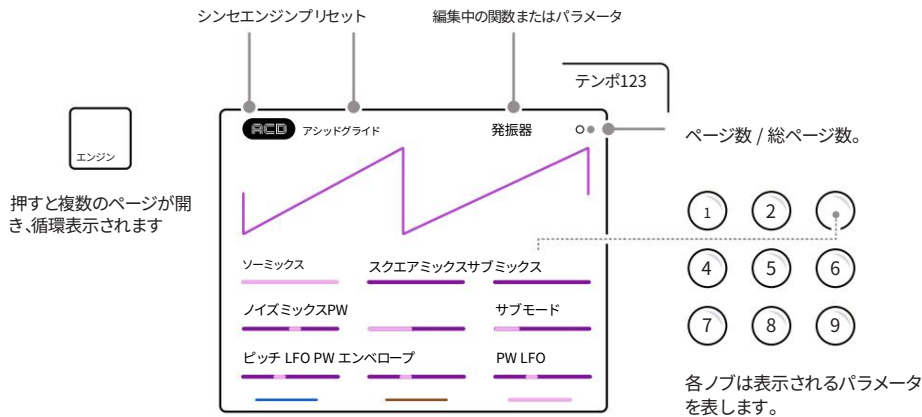
- 9 マクロ1とコンポコントロール。
1 つの (C1) ノブを使用して、すべてのシンセ エンジンまたは選択したシンセ エンジンのシンセ マクロまたは関連する共通パラメータを調整します。
 - 10 マクロ2とコンポコントロール。
1 つの (C2) ノブを使用して、すべてのシンセ エンジンまたは選択したシンセ エンジンのシンセ マクロまたは関連する共通パラメータを調整します。
 - 11 マクロ3とコンポコントロール。
1 つの (C3) ノブを使用して、すべてのシンセ エンジンまたは選択したシンセ エンジンのシンセ マクロまたは関連する共通パラメータを調整します。
 - 12 ミキサーとエフェクト
すべてのシンセ エンジンのレベルとパンのミキサー ページを開きます。Shift キーを押すと ModFX パラメータが開きます。
 - 13 シーンとプリセット
[シーン] マネージャーを開いて読み込みと保存を行います。[Shift] + [シーン] を押すとシンセプリセット ブラウザーが開きます。
 - 14 シンセエンジンオシレーターパラメータ
選択したシンセエンジンのオシレーターページを開きます。エンジンは[画面]ボタンで選択します。
 - 15 シンセエンジンフィルターパラメータ
選択したシンセ エンジンのフィルター ページを開きます。エンジンは[画面]ボタンで選択します。
 - 16 シンセエンジンADSRエンベローブパラメータ
選択したシンセ エンジンのフィルター ページとアンプ エンベローブ ページを開きます。[画面] で選択したシンセ。
 - 17 シンセエンジンLFOパラメータ
選択したシンセ エンジンの低周波オシレーター ページを開きます。[画面] で選択したシンセ。
 - 18 シーケンサーモードとモジュレーションルーティング
選択したシンセ エンジンのシーケンサー モード ページを開きます。Shift キーを押すと、モジュレーション量を調整できます。
 - 19 シフト
ボタンのグレー テキスト オプションなどの二次機能にアクセスするには、コントロールと組み合わせて [Shift] キーを使用します。
- 5 x 12 グリッド パッドはベロシティ センシティブです。左側の画面ノブを除くすべてのノブはタッチ センシティブです。

シンセの基本

ディスプレイとコントロール

注記

各ページには、選択した機能のパラメータ情報とコントロール オプションが表示されます。これは通常、コンテキストと操作モードに基づきますが、Synth の一般的なページのすべて (またはほとんど) に適用される共通の機能とナビゲーション原則がいくつかあります。



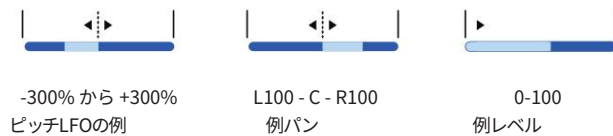
カラースキームは選択されたシンセエンジンを表します



ディスプレイの下の3つの [Screen] ボタンは、デフォルトではシンセ エンジン 1,2,3 のそれぞれを表します。一部のモードでは、これらのボタンはボタンの真上にあるディスプレイの機能を表します。



表示される値、範囲、スケールは、表されるパラメータによって異なります。



[]エンジン 説明内の角括弧は、フロントパネルの物理的なボタンまたはパッドを表します。押すか押したままにするとアクティブになります。

(巻) 説明内の丸括弧は、フロント パネルの物理的なノブを表します。画面ノブを除くすべてのノブはタッチ センシティブです。ノブは回したり、タップしたりします。

シンセの基本

注記

QWERTYキーボード

一部の機能では、シーンの保存や名前の付け方など、テキスト編集が必要になります。英数字ポップアップ エディターを使用する場合も、同じ機能が適用されます。画面には QWERTY キーボードと編集するテキスト文字列が表示され、5 x 12 パッド グリッドがキーボードの入力として機能します。画面のボタンを使用してアクションを選択することもできます。



画面には、グリッド パッドによって表される文字が表示されます。パッドと画面の文字を区別するために、「f」パッドと「j」パッドが強調表示されます。テキストを入力すると、現在選択されている文字がディスプレイとパッド上でオレンジ色に点灯します。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	<	
q	わ	e	r	t	ゑ	ゑ	.	o	p	-	+
∞	s	d	ふ	グ	h	じ	け	l	@	CL	
ず	x	c	ヴ	b	ん	∞	-	;	()	_
.	,							'	^	=	\$

命名画面が表示されている場合、命名エディターでは次のシンセ コントロールも動作します。

- (画面) を押すと、名前文字列の現在のカーソル位置に強調表示された文字が追加されます。
- テキスト名文字列内で文字カーソルを左または右に移動するには、(画面)ノブを回します。
- ダイナミックスクリーンボタンは、特定のコマンドを実行します。
ボタンの上に表示されます。確認、Caps Lock、自動名前の 3 つのコマンドが使用できます。

シンセの基本

シーンの最初のステップ

注記

シーンは、Polyend Synth の中核です。シーンは、パッチ、設定、マクロ、パラメータ、シーケンスデータの集合です。シーンは、完全な曲やアレンジメントを構成する 1 つの特定のセクションまたは構成要素とを考えてください。シーンは、すべての音楽要素のコンテナであり、管理可能なパーツを操作することで、アレンジメントの個別のセクションを作成および整理するのに役立ちます。

アーティスト シーンは、シンセが楽器としてどのように使用されているかを紹介するシーンのライブラリであり、シーンの構成に関する独自の洞察を提供し、コレクションに独特のスタイルとセンスをもたらします。

汎用シーンは、カスタム制作やサウンド デザインを開発するために Synth ユーザーが設計および構築した曲ベースのシーンです。

シーンの構成要素



シーンを作成するには、これらの要素の構成と開発が必要です。これらを組み立てることでサウンドが開発され、より広範な制作で一緒に使用できるシーンが構築されます。独自のワークフローを開発しますが、次の手順ではシーン作成の基本原則について説明します。

シンセの基本

注記

シーンの管理

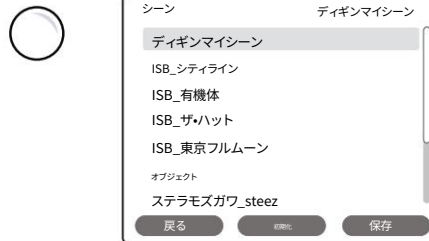
シーンは、メイン メニューの [プロジェクト] で管理することも、ディスプレイ画面の左側にある専用の [シーン] ボタンを使用して直接管理することもできます。最大 1000 個のシーンを Micro SD カードに保存できます。



[シーン] ボタンを押してシーン メニュー オプションを開きます。または、(スクリーン) ノブを押してメイン メニューを開き、[プロジェクト] を選択します。(スクリーン) を回してメニューをスクロールして移動します。(スクリーン) を押して、強調表示されたオプションまたはサブメニューを選択します。

[画面] ボタンを使用すると、メニューを上に戻ったり、オプションを選択したりできます。

(画面)ノブでリストを移動します。



ディスプレイの下にある画面ボタンを押して、メニューのバックアップを操作したり、ハイライトされたシーンをロードまたは保存したりします。<Init>を選択して新しいシーンを作成します。

新しいシーンを作成します。

[Scene]ボタン押し、[Init]ボタンを選択します。

[SHIFT] + [SaveAs] ボタンを押してシーンを保存し、名前を付けます。グリッド上のキーボードで名前を入力します。完了したら[確認]画面ボタンを押すか、[戻る]を押して終了して移動します。シーンローダーに戻ります。選択したシーンがアクティブになります。編集用。

シーンを保存します。

右の [保存] ボタンを押して、リスト内でハイライト表示され選択されたシーンに保存します。

[Shift] キーを押したままにすると、「名前を付けて保存」されます。必要に応じて、名前を編集するための命名メニューが開きます。完了したら [確認] 画面ボタンを押して保存/書き出すか [シーン] を押して終了し、メニューでバックアップします。

シーンを読み込みます。

(画面)ノブを使用して、ロードするシーンを移動して強調表示します。

中央の[ロード]ボタンを押すと、リストからハイライト表示され選択されたシーンがロードされます。シーンが開き、編集できるようになります。

シンセの基本

シンセグリッド

シンセ ユーザー インターフェイスは、シンセ プリセットの再生に使用される 5 x 12 パッド グリッドに基づいています。グリッドは、好みのスタイルに合わせてカスタマイズでき、3 つのシンセ エンジンと同時に使用することもできます。シンセ、モード、コード、スケール、ルート ノートは設定可能です。

グリッドの設定

設定はメイン メニューのグリッド オプションの下にあります。メイン メニューには画面ノブでアクセスします。グリッド設定はシーンとともに保存されます。



メイン メニューを開くには、(画面) ノブを押します。メニューをスクロールして移動するには、(画面) を回します。強調表示されたオプションまたはサブメニューを選択するには、(画面) を押します。

回して「グリッド」をハイライト表示し、(画面)ノブを押して選択します。

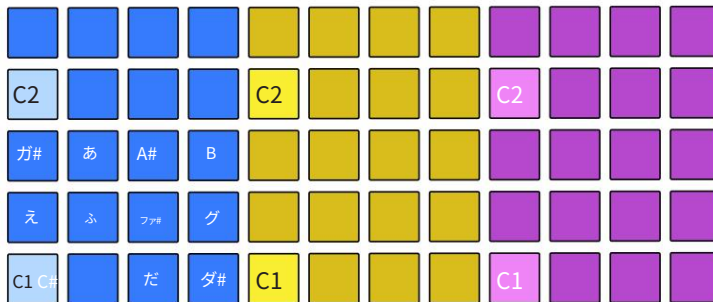
[画面] ボタンを使用すると、メニュー内を上へ移動したり、ページを変更したりできます。

グリッド				
C1	レイアウト 3デバイス	モード 注記	モード 注記	モード 注記
C2	規模 クロマツト	コード -	コード -	コード -
C3	根 C	根 C1	根 C1	根 C1
戻る		もっと		

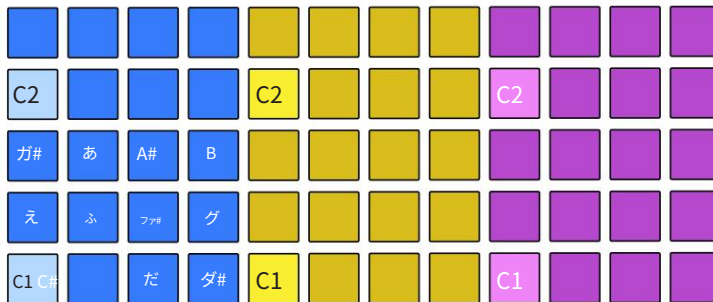
9つのマクロ ノブは、表示されるパラメーター値を変更します。

C1、C2、C3 ノブは一般的な設定を編集します。

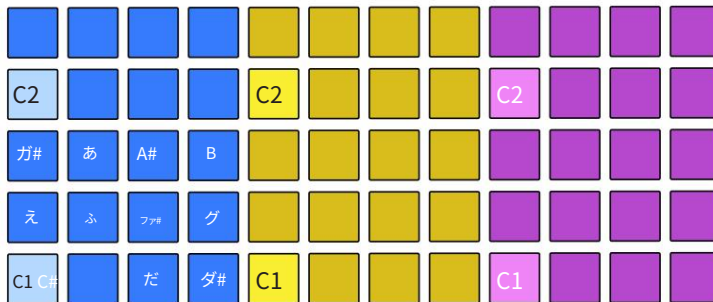
シンセ 1 - ブルー
垂直方向



シンセ 2 - イエロー
垂直方向



シンセ 3 - マゼンタ
垂直方向



ルート

(例 :C) 、オクターブはシンセごとにC1、C2などに設定できます。

スケー

ル (例: クロマチック) では、パッドは選択したスケール内のすべての音符を表します。

注記

シンセの基本

グリッド ページ設定は、メイン メニューの [グリッド] オプションからアクセスできます。(画面) ノブを押してメイン メニューを開き、ノブを回して移動します。

オプション	グローバル / シンセ ノブ		説明
レイアウト	グローバル	C1	3つのデバイスをミックス: 3つのシンセがパッド全体にミックスされた配置で配置されています
			3つのデバイスを垂直に配置: 3つのシンセがパッド列に垂直に配置されます
			1 番目のデバイス。パッドは Synth 1 のみを表し、ノートは水平に配置されます。
			2 番目のデバイス。パッドは Synth 2 のみを表し、ノートは水平に配置されます。
規模	グローバル	C2	3 番目のデバイス。パッドは Synth 3 のみを表し、ノートは水平に配置されます。
			クロマチック、マイナー、メジャー、ドリアン、リディア・メジャー、リディア・マイナー、ロクリアン、フリジアン、フリジアン・ドミナント、ミクソリディアン、メロディック・マイナー、ハーモニック・マイナー、ビバップ・メジャー、ビバップ・ドリアン、ビバップ・ミクソリディアン、ブルース・マイナー、ブルース・メジャー、ペンタトニック・マイナー、ペンタトニック・メジャー、ハンガリー短調、ウクライナ短調、マルヴァ、全音、減音、スーパーロクリアン、平常音、インゼン、ヨ、イワト、クモイ、倍音、ダブルハーモニック、インディアン、ナポリタンメジャー、ナポリタンマイナー、謎めいた
根	グローバル	C3	C、C#、D、D#、E、F、F#、G、G#、A、A#、B
モード	シンセあたり	パラメータ 1,2,3	注記
			Chスケール
			コード
			Chバック
			フォロー - 別のシンセでコードモードが選択されている場合にのみ使用可能
コード	シンセあたり	パラメータ4,5,6	コード モードが選択されているときにコードの種類を選択します。使用可能なコードの種類 (以下を参照) : None、Pow4th、Pow5th、Minor、Major、Dim、Aug、Sus2、Sus4、Maj7、Min7、Dom7、Min7b5、Maj6、Min6、MinMaj7、Maj9、Min9、Maj11、Min11、Maj13、Min13
根	シンセあたり	パラメータ7,8,9	各シンセのルート音のオクターブ範囲を C0 ~ C8 の間で設定します。デフォルトは C1 です。また、シンセ表示ページで、選択したシンセの [Screen] を押しながら (Screen) ノブを回すと、ショートカットを使用してこれを変更することもできます。

ポリフォニー :

コードを使用するときは、シンセの音声を設定することを忘れないでください。たとえば、三和音では、コードを演奏するために 3 つの音声が必要です。この設定は、メイン メニューの [シンセ] にあります。

シンセの基本

グリッドパッドの演奏

パッドは各シンセの色を表すために点灯します。シンセ 1 は青、シンセ 2 は黄色、シンセ 3 はマゼンタです。各パッドのルート ノートも識別されます。すべてのパッドは、各シンセに選択されたスケールとオクターブ範囲に基づいてノートを表します。

音符または和音を演奏する。



[Pad] またはパッドを押して、演奏する音符を選択します。演奏されるポリフォニーは、ボイス設定に基づきます。

音符やコードを演奏して持続させる



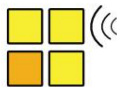
[Shift] キーを押しながら [Pad] またはパッドを押すと、ノートが再生されるか、単一のノートがリリースされます。パッドはベロシティに敏感なので、加えられた圧力によって出力されるサウンドが変わります。

持続音を発する



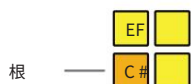
[Shift] キーをダブルタップすると、持続音がすべて解除されます。また、特定の音だけを解除するには、[Shift] キーを押しながら [Pad] またはパッドを押します。

演奏中にベロシティを適用します。



[Pad] またはパッドを押します。パッドはベロシティに敏感なので、加えられた圧力によって出力されるサウンドの音量レベルが変わります。パッドの色合いも加えられた圧力に応じて変化します。

方向に注意してください。



パッドの色はシンセの音階の音符を表します。交互の色のパッドはルート音符を表します。たとえば、Synth 1 は黄色のパッドで、オレンジ色のパッドはルート音符を定義します。

シンセの基本

注記

コード

メインメニューにあるグリッドページには、グリッドを使用してノートやコードを再生する方法を設定するためのオプションが多数用意されています。カスタムコードも、コードパックのプリセットとして利用できます。これらのオプションは、グリッドページの各シンセの「モード」オプションで利用できます。

メインメニューからグリッドオプションを選択します



メインメニューを開くには、(画面)ノブを押します。メニューをスクロールして移動するには、(画面)を回します。強調表示されたオプションまたはサブメニューを選択するには、(画面)を押します。

回して「グリッド」をハイライト表示し、(画面)ノブを押して選択します。

コードオプション

- シンセごとのノートまたはコードモード
- コードスケール

コードパック

- 「ChordPack」モード
- コードパックプリセット

モード	説明
注記	1つのパッドから個々の音符のみを演奏します。複数のパッドを押すと、手動で複数の音符をコードとして演奏できます。音声カウントが許す限り。
コード	個々のパッドを音符ではなくコードとして演奏できるようにします。これは主要なコードシンセです。コードモードに割り当てることができるシンセは1つだけで、他のシンセはこのスケールのフォロワーとして設定することも、ノートパッドのままにすることもできます。
Chスケール	選択したスケール内で個々のパッドをコードとして演奏できます。これは主要なコードシンセです。コードモードに割り当てることができるシンセは1つだけで、他のシンセはこのスケールのフォロワーとして設定することも、ノートパッドのままにすることもできます。
Chパック	コードプリセットの選択にアクセスできるようになります。これらは、コードパックモードのときに「コード」オプションを使用して選択されます。
フォロワー	このオプションは、別のシンセがコードモードに設定されている場合にのみ使用できます。このオプションが適用されたシンセは、パッド上に表示される音符をコードスケールに合わせて自動的に調整します。

シンセの基本

シンセプリセット

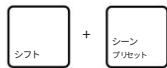
注記

シンセは、シーン内で最大3つのシンセ プリセット スロットで動作します。プリセットは、特定のモデルに基づいてカスタマイズ可能なボイス数とパラメータ セットを持つ、利用可能なシンセ エンジンモデルの1つに割り当てることができます。

シンセエンジンの選択

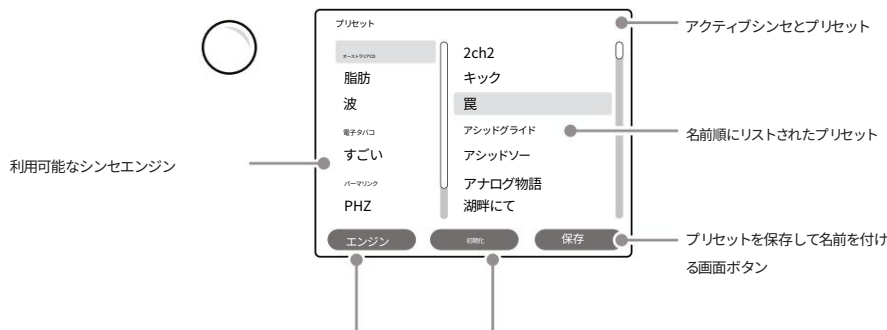
まず、作業するシンセ スロットを選択します。シンセ モデルのプリセットへの割り当ては「プリセット」メニューで実行され、そのグローバル設定はメイン メニューの「シンセ」オプションにあります。メイン メニューには、画面のノブでアクセスします。

まずシンセスロット (1,2,または3)を選択し、次にシーン/プリセットメニューに移動して、エンジンとプリセットを選択します。



[Shift] キーを押しながら [Preset] ボタンを押すと、プリセット メニュー オプションが開きます。リストをスクロールして移動するには、(画面) を回します。強調表示されたオプションまたはサブメニューを選択するには、(画面) を押します。

(画面)ノブでリストを移動します。押して選択します。



画面ボタンを押すと、プリセット セクションからシンセ エンジン 選択の左側のウィンドウに切り替わります。

選択したエンジンのデフォルト/空のプリセットを初期化します。

新しいプリセットを作成します。

[Shift]+[Scene]ボタンを押して、[Init]ボタンを選択します。[SHIFT]+[SaveAs]ボタンを押してプリセットを保存し、名前を付けます。グリッド上でキーボードを使用して名前を入力します。完了したら [Confirm]画面ボタンを押すか、[Back]を押して終了し、プリセットローダーに戻ります。

プリセットをロードします。

希望するシンセエンジンに移動して選択します。特定のエンジンのプリセットのリストが表示されます。プリセットを選択し、(画面)を押します。ロードするノブ。空白の状態に初期化するオプションは、[Init] 画面ボタン オプションで使用できます。

プリセットを保存します。

プリセットを編集して希望の状態にしたら、保存できます。プリセット メニューで、[保存] を押し、必要に応じてプリセットの名前を変更できます。完了したら確認します。

シンセの基本

シンセエンジンモデル

それぞれ異なるスタイルと特性を持つシンセモデルのコレクションから選択できます。

オーストラリア/PCD



ACDは象徴的な楽曲を再現し、エレクトロニックミュージックの黄金時代へとあなたを連れ戻します。

シングルオシレーターモノフォニックアナログシンセサイザー。日本の伝説に敬意を表したACDは、これらのクラシックのエッセンスを捉えるだけでなく、超高速の合成体験で未来へと導きます。忠実なモノフォニックアナログの再現から、まったくユニークで革新的なサウンドスケープまで、豊富なオプションを提供します。

電子タバコ



VAPは、デュアルオシレーターアーキテクチャと多用途な機能を備えたバーチャルアナログポリシンセです。

モジュレーションマトリックス。複数のフィルター、フレーバーとパルス幅変調を備えたVAPを使用すると、複雑なパターンを作成できます。このエンジンは、魅力的で進化するテクスチャの作成、豊かなパッドの作成、そしてユニークなサウンドエフェクトの創出に優れています。

PHZ



PHZを使用すると、クラシックな位相歪みトーンや実験的な新しいサウンドを作成できます。PHZはさまざまな形状の2つのオシレーターで構成されており、クラシックな位相歪みシンセとは異なり、フィルターとPolyendスタイルのmodマトリックスが含まれています。入力波形の位相は、関数/メソッドによって歪められます。これらの各関数は、0~1の範囲のパラメーターXとYによって徐々に変調できます。

波



Wavsは、フィルタリングを適用しながら2つのウェーブテーブルオシレーターサンプルを再生およびモーフィングする、ユニークなウェーブテーブルシンセサイザーエンジンです。ウェーブテーブルは、Samples > Wavetablesフォルダー内のプレーンWAVファイルに保存されます。位置のコントロールは、WAV間の補間中にスキャンを制御します。ワープはオシレーターの位相に影響し、サンプルポイントの中心から端まで伸縮またはワープします。これは正または負の次元で動作します。

ポリエンドシンセエッセンス

脂肪



FATは、クラシックなアナログシンセサイザーの豊かでビンテージな暖かさを体現した強力なシンセエンジンです。FATは、その中核に3つの仮想アナログオシレーターを搭載し、直感的なドリフトとデチューンコントロールを備えているため、象徴的な重厚なサウンドを簡単に作り出すことができます。プリセットには、2つのユニークなアナログクラシックにインスパイアされた2種類のラダーフィルターが含まれています。深みのあるリースベースから優美なパッド、表現力豊かなリード、クラシックキーボードまで、多彩なサウンドを提供します。

すごい



WTFMは、3倍のフィードバックシステムで駆動されるウェーブテーブルベースのオシレーターを使用した、ユニークな2オペレーターFMシンセエンジンです。オペレーターは、基本的な正弦波から倍音豊かな音色まで、さまざまなスイープウェーブテーブルに基づいており、多様な音色パレットを提供します。滑らかに包み込むようなパッドを作成する場合でも、最先端のメタリックトーンを作成する場合でも、WTFMを使用すると、正確で本物らしくユニークなテクスチャを実現できます。

パーマリンク



独自のコントロールとモジュレーションオプションを備えたクラシックな物理モデリング合成。

Timbreは、各ジェネレーターに固有の方法でサウンドを制御します。MalletとAir Flowは、各ジェネレーターに固有のパラメーターです。Exciterエンベロープは、従来のシンセのアンブエンベロープと同等のものとして扱うべきではありません。その動作は、各ジェネレーターに異なる影響を与えます (Strikeにはまったく影響しません)。Resonatorは、ジェネレーターのミックスされたサウンドをさらに形作ります。

粒



グレインは、標準のWAVサンプルファイルを受け取り、グレインと呼ばれる一連のオーディオフラグメントを生成するグラニュークシンセエンジンです。サイズ、密度、形状などのグレインの生成は、スキャン方法だけでなく、

スキャン位置や方向などの再生。

クラウド機能とバースト機能は、グレインを連続的に生成するか、周期的にバッチ生成するかを制御します。グレインのピッチは、パラフォニックモードでコードとして再生できます。

シンセの基本

注記

シンセの構成

3つのシンセ スロットそれぞれの一般的なシンセ構成は、メイン メニューで設定できます。



メイン メニューを開くには、(画面) ノブを押します。メニューをスクロールして移動するには、(画面) を回します。強調表示されたオプションまたはサブメニューを選択するには、(画面) を押します。

回して「Synths」をハイライト表示します - (画面)ノブを押して選択します。

[画面] ボタンを使用すると、メニューに戻ったり、ページを変更したりできます。

9つのマクロノブはディスプレイ上の9つのパラメータを表します。パラメータの色はシンセスロットを表し、1は青、2は黄色、3はマゼンタです。



オプション	ノブ	説明
音声カウントパラメータ 1,2、または 3		最大で合計 8 つのボイスを割り当てることができますが、構成によっては 8 つ未満に制限される場合があります。ボイス数 8 はすべてのシンセで共有されます。
Midiチャンネルパラメータ4,5、または6		外部 MIDI コントローラーを使用するときにシンセを制御するために割り当てられた MIDI チャンネル。チャンネルは、ミニ ジャック MIDI インターフェイスまたは USB を使用して 1 ~ 16 です。
ローカルモードパラメータ7,8、または9		ローカル モードを「オン」にすると、シンセのオンボード パッドがシンセ エンジンの制御に使用されます。ローカル モードが「オフ」の場合、パッドはシンセの演奏には使用されず、接続された MIDI コントローラーが排他的に制御します。

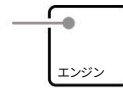
シンセの基本

注記

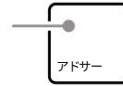
シンセパラメータ設定

シンセプリセット内でサウンドデザインに使用できるパラメータセットは、適用されているシンセモデルによって異なります。シンセエンジンモデルはすべて異なるため、パラメータは大幅に異なります。シンセパラメータボタンを使用すると、パラメータセクションにすばやくアクセスできます。

発振器と主要な音源。



フィルター指向パラメータ

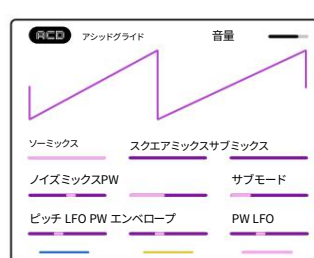
エンベロープセクション
(通常はアンプとフィルター)。低周波発振器
1と2のオプション

ボタンをタップして機能を選択し、タップし続けると、選択した機能で使用可能なすべてのページが切り替わります。ページとパラメータは、現在選択されているエンジンによって異なります。

グローバルパラメータ設定

ユーザー インターフェイスから直接使用できるグローバルパラメーターが3つあります。

1つ目はボリュームで、全体の出力音量レベルを制御します。テンポは1分間の拍数とスイング設定を設定します。最後に、ピッチベンドはシンセのピッチを調整します。これは通常、ライブ演奏中にパフォーマンスツールとして使用されます。



調整するとパラメータと値が右上に表示されます。

音量

[Shift] + 回転 (テンポ) を使用して、スイング量を 25 ~ 75% に調整します。50% に設定すると、スイングなしになります。

テンポ

ピッチベンドは演奏中にピッチを変更し、デフォルトではリリースすると 0 に戻ります。動作はメインメニューで変更できます。

ピッチベンド

シンセの基本

マクロ

注記

マクロを使用すると、選択したパラメータのコレクションを 1 つのコントロール ノブに割り当てることができます。このノブを使用して、これらすべてのパラメータをまとめて調整します。マクロ コントロールには、3 つの C1、C2、C3 ノブを使用します。速度（デフォルトの音量）と圧力のマクロも存在します。

マクロの作成と編集

マクロ設定はメイン メニューで行います。各「C」ノブには最大 5 つのパラメータを割り当てることができます。速度と圧力も同じ方法で設定できます。



メイン メニューを開くには、(画面) ノブを押します。メニューをスクロールして移動するには、(画面) を回します。強調表示されたオプションまたはサブメニューを選択するには、(画面) を押します。

回して「マクロ」をハイライト表示し、(画面)ノブを押して選択します。

[画面] ボタンを使用すると、メニューに戻ったり、オプションを選択したりできます。



1. 音色
マクロ名



2. 動き
マクロ名



3. 実験
マクロ名

パラメータ ノブを回して、割り当てられたパラメータ範囲を調整します。

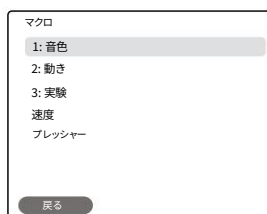
マクロ名も編集できます。

バイポーラをオンにすると、マクロが +/- の範囲で設定されます。

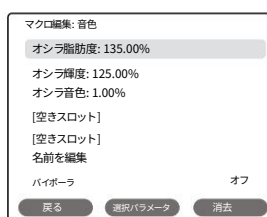
割り当てを削除することもできます

割り当てはシンセ機能パラメータページで行われます。

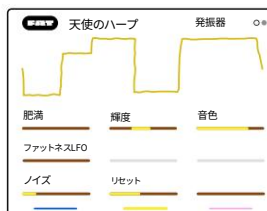
マクロノブごとに最大5つのパラメータを割り当てることができます



選択したマクロを編集
プレス (スクリーン)



パラメータを割り当てる
[パラメータ選択]を押します



シンセページを選択
タッチ/ターンパラメータ例 (太さ)

シンセの基本

注記

シンセマクロとコンボコントロールの使用

マクロは、C1、C2、C3 ノブを使用して制御されます。これにより、割り当てられたパラメータの値を調整します。たとえば、フィルターとアンプ エンベロープ アタックの両方を 1 つのノブで制御できます。マクロ ノブを調整すると、現在選択されているシンセのパラメータが編集されます。

さらに、C1、C2、C3 ノブを使用して、複数のシンセの共通パラメータのマクロの組み合わせを制御できます。これは、複数のシンセ画面ボタンを押しながらマクロ ノブを調整することで実行されます。

編集集中に表示されるマクロ

現在のシンセは編集されています

編集集中に表示されるコンボ

コンボ1

選択したシンセを編集します

1 つまたは複数の画面ボタンを押したままにして、編集するシンセを選択します。シンセはディスプレイの色で表されます。

典型的なマクロ規約

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 1. 音色 | サウンドの音色/音色特性に影響します。 |
| 2. 動き | エンベロープの長さ、LFO レートなどを使用した時間的効果 |
| 3. 実験 | 予期せぬ、異常な音 |

シンセの基本

シーケンサーとアルペジオ

注記

3つのシンセプリセットにはそれぞれ独自のシーケンサーまたはアルペジエーターがあります。このオプションは、「Seq」ボタンを使用して設定できます。



[Seq] ボタンを押してシーケンサー オプションを開きます。[Screen] ボタンを押して、編集する 3 つのシンセプリセットの 1 つを選択します。

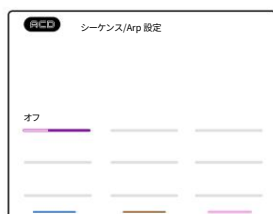
パラメータノブを回して、「Arp」、「Seq」、または「Off」ページを選択します。

または

[Seq]をタップすると、「Arp」、「Seq」、または「Off」ページを切り替えます。

[PADS]を使って音符を入力することができます。

オフ



オプションを切り替えるには、(ノブ)を回すか、[Seq]を押します。

アルペジエーター



パッドを使用して選択されたノート、設定およびタイプの適用に基づいて、パターン ループを自動的に再生します。

シーケンサー



シーケンスに適用された設定に基づいてノート パターンを記録します。パッドは、「再生」モードで使用され、再生されたノートのピッチに基づいてシーケンスを再生します。

シンセの基本

注記

シーケンサーまたはアルペジエーターのオプション

アルペジオ/シーケンス	パラメータ	説明
アルペジオ/シーケンス	スイング	いくつかのノートグリッドから少しずらして早めたり遅めたりすることで、バリエーションを追加します。
アルプ	タイプ	アルペジオ ノートの再生動作を決定します。 オプションは、上、下、再生順序、ランダム、コード、ダイアド、トライアド、インサイド アウト、アウトサイド イン、アップ ダウン、ダウン アップ、ウィーブ、リターン、ダブル リターンです。
シーケンス	再生 記録	「Rec」を選択すると、ノートパッドを使用してシーケンスを再生および録音できます。録音したら、「Play」を選択すると、パッドを使用して、演奏されたノートのピッチに基づいて録音されたパターンを再生できます。
アルペジオ/シーケンス	溝	アルペジオまたはシーケンス パターンに適用するグループ テンプレート 1 ~ 11 を選択します。
アルペジオ/シーケンス	人間化	生成されたアルペジオまたはパターンに、人間的なシャッフルまたはリズムカルな感覚を追加します。
アルペジオ/シーケンス	レート	アルペジオの音程を選択します。オプションは、1/1、1/2、1/4、1/8、1/16、1/32、1/64 です。
アルペジオ/シーケンス	ゲート長さ	アルペジオまたはシーケンス パターン内の各音符の長さ。 長さの範囲は1%から200%です
アルペジオ/シーケンス	10月範囲	アルペジオまたはシーケンス パターンで演奏するために使用されるオクターブの数。選択したオクターブ範囲にわたって音符を再生します。

シンセの基本

ミキサー

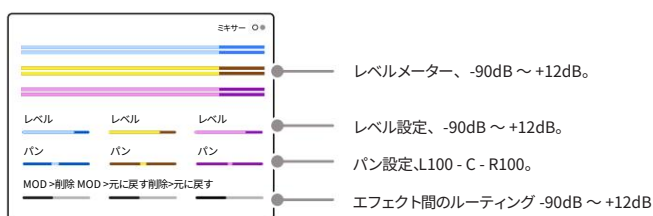
注記

ミキサー セクションでは、各シンセ オーディオ チャンネルのレベルとパンを調整できます。最終的な出力ミックスは、ミキサー内の設定によって決まります。さらに、ミキサー セクションでは、エフェクト センド レベルも制御します。

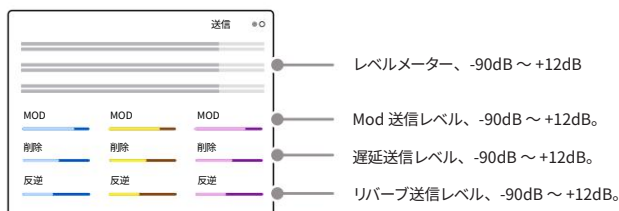


[ミキサー] ボタンを押すと、ミキサー セクション ページが開きます。ここには、各シンセ オーディオ チャンネルのオーディオとエフェクト センドが含まれます。[ミキサー] ボタンをタップすると、2つのミキサー ページが切り替わります。

ミキサー ページ 1



ミキサー ページ 2

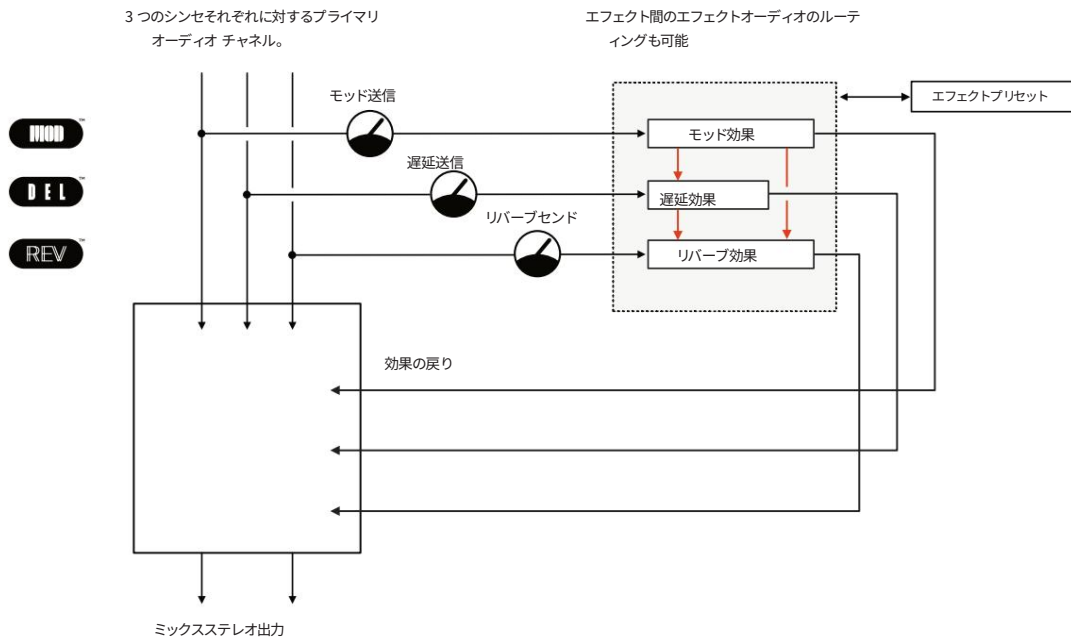


9つのパラメータ ノブを使用して設定を調整します。ノブの相対的な位置によって、ディスプレイ上のそれぞれのパラメータが変更されます。

シンセの基本

効果

マスター エフェクト セクションは、Mod、Delay、Reverb エフェクトで構成され、センド/リターン構成として動作します。つまり、各シンセのプライマリ信号パスから制御可能な量のオーディオをエフェクトに送信し、エフェクト出力をメイン ミックスに戻すことができます。センドはミキサー ページで制御されます。

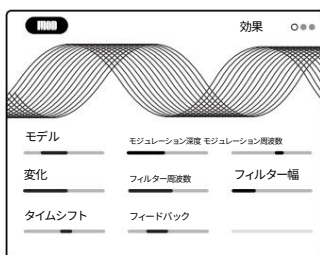


各エフェクトのパラメータ設定はエフェクト ページにあります。エフェクト ページには、ミキサー ボタンの二次機能である [Shift] + [Effects] または [Shift] + [Filter] を使用してアクセスできます。各エフェクトは、すべてのシンセ プリセット オーディオ チャンネルに共通です。エフェクト プリセットは、[Shift] + [Preset] の [Preset] メニューで保存および読み込みできます。このメニューでプリセットを初期化することもできます。



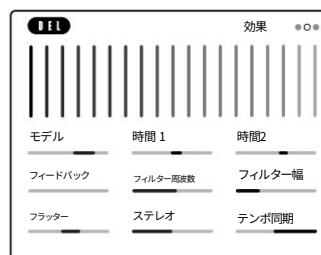
[Shift] キーを押しながら [Effect] ボタンを押すと、エフェクト ページが開きます。Mod、Delay、Reverb が使用できます。[Shift] キーと [Effect] キーをタップすると、各エフェクトとそのパラメーター ページが順番に表示されます。

Mod - ページ 1



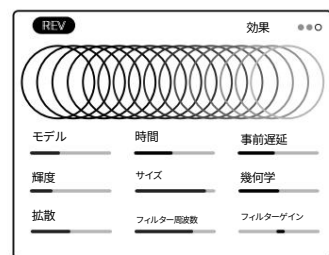
デュアルディレイラインエフェクトに似たオールラウンドモジュレーションエフェクトですが、コーラスやフランジスタイルに適しています。

遅延 - ページ 2



クラシックな 1 または 2 つのディレイ ライン エフェクト。モノラルまたはステレオの遅延を有効にします。

リバーブ - ページ 3



クラシックなプレートからより実験的なワープ アルゴリズムまでのリバーブ モデルの組み合わせ。

シンセの基本

注記

エフェクトパラメータ

効果	パラメータ	説明
モッド	モデル	シングル、デュアル (デュアル タップ シングル ライン モノ)、ステレオ、ステレオ X (クロスチャンネル フィードバック)。
モッド	モッド深度	エフェクトに適用される変調の量
モッド	モジュレーション周波数	エフェクトに適用される変調の速度。
モッド	変化	各モデル特有の変調バリエーション。
モッド	フィルター周波数	フィードバックループに適用されるバンドパスフィルタのカットオフを調整します
モッド	フィルター幅	内部フィルターの帯域幅をオクターブ単位で調整します
モッド	タイムシフト	変調ライン間の時間シフト
モッド	フィードバック	入力にフィードバックされる出力オーディオの量。
遅れ	モデル	シングル、デュアル タップ、トリプル タップ (すべて単一の遅延ライン)、およびステレオまたはピンポン (2つの遅延ライン)。
遅れ	時間 1	同期がオンの場合は、タップ間のラインを 1 時間 (ミリ秒単位) または音符間隔で遅延します。
遅れ	時間 2	タップ間の遅延ライン 2 時間 (ミリ秒単位)、または同期がオンの場合は音符間隔
遅れ	フィードバック	入力にフィードバックされる出力オーディオの量。これにより、遅延ライン上の繰り返しが発生されます。
遅れ	フィルター周波数	リバーブ効果フィードバック用の内部バンドパスフィルターカットオフ
遅れ	フィルター幅	内部フィルターのバンド範囲を調整します。
遅れ	フラッター	テープのバリエーションを彷彿とさせるオーディオ特性を追加します
遅れ	ステレオ	オーディオ プレーンの遅延ステレオ幅を調整します。
遅れ	テンポ同期	オンの場合、遅延をテンポ クロックに同期します。
リバーブモデル		Natural と Plate はよりクラシックなタイプをエミュレートし、Warp モデルはよりクリエイティブな動きを提供します。
リバーブタイム		全体的なエフェクトテールの持続時間のリバーブ時間。テールは、形状やサイズなどの他のパラメータによっても影響を受けます。
リバーブプリディレイ		最初の音からの最初の反射を表す
リバーブの明るさ		シェルフ EQ/ゲインのバランスを調整して、明瞭度と特性に影響を与えます。
リバーブサイズ		部屋のサイズをエミュレートします。
リバーブジオメトリ		音の反射や吸収のために部屋の形状をエミュレートします。
リバーブ拡散		初期反射間の時間。音を厚くしたり薄くしたりします。 一般的なユーザー範囲は 50 ~ 80 です。この範囲外で実験してみてください。
リバーブフィルター周波数		シェルフ フィルターを使用してリバーブ特性に影響を与えます。
リバーブフィルターゲイン		シェルフ フィルターのゲイン。明るさと周波数と組み合わせて使用します。

エフェクトプリセットを初期化するには、エフェクトを選択し、[Shift] キーを押しながら [Preset] ボタンを押してプリセットページを開きます。プリセットメニューで [Init] を押します。デフォルト設定が適用されます。

シンセの基本

注記

変調

変調とは、パラメータを変更または修正するプロセスを指します。最も基本的なレベルでは、ノブを回してボリューム コントロールを変更すると、ボリューム レベルが変調されます。オーディオ システムでは、変調は通常、エンベロープや低周波発振器などの機能を使用して適用され、1 つ以上の他の対象パラメータに影響を与えたり、変調したりします。例としては、ボリューム レベルを変化させて特徴的なトレモロ効果を生み出すことが挙げられます。

シンセのモジュレーション機能は、6 つのモジュレーション スロットの 2 ページを表示する Seq ボタンのセカンダリ オプションとしてアクセスされます。



[Shift] キーを押しながら [Mod] ボタンを押すと、モジュレーション セクション ページが開きます。

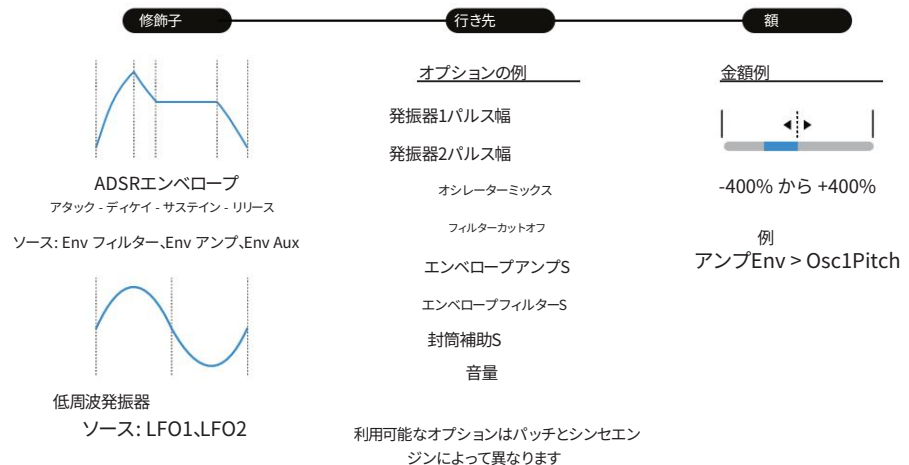


それぞれのパラメータノブを回して、3 つのモジュレーション機能のそれぞれの設定を変更します。

モディファイア: モディファイアは変調ソースであり、宛先パラメータを制御および変更する機能です。たとえば、LFO (低周波発振器) や ADSR (エンベロープ) などです。

宛先: 宛先は、モディファイアによって変調され、影響を受ける特定のパラメータです。変更されるパラメータです。例: Osc1 Pitch。

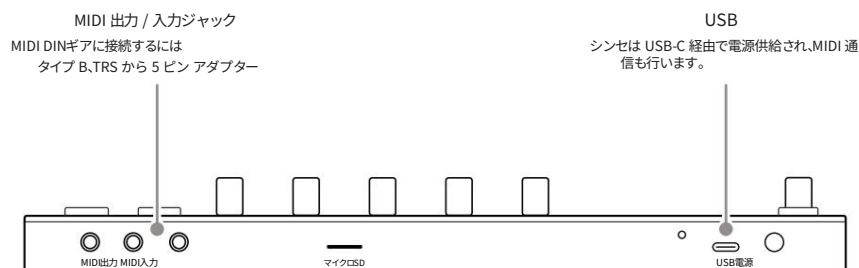
量: 宛先パラメータに適用される変調の量。通常はバイポーラ範囲。変調器から宛先にどれだけ影響を与えるかに影響します。例



シンセの基本

シンセのMIDIコントロール

Synth は外部デバイスから制御でき、たとえば外部キーボードからノート シーケンスを再生したり、クロックを制御したりすることができます。MIDI (Musical Instrument Digital Interface) はデバイス間の通信を管理するプロトコルであり、Synth は TRS I/O 経由で直接、または USB-C 接続を使用して MIDI で動作します。



まず、シンセが MIDI デバイスと通信できるように正しく設定されていることを確認します。その後、各シンセを MIDI 入力ジャックまたは USB と 16 個の MIDI チャンネルの 1 つに割り当てることができます。この割り当ては、メイン メニューの [シンセ] オプションで行います。

MIDI設定

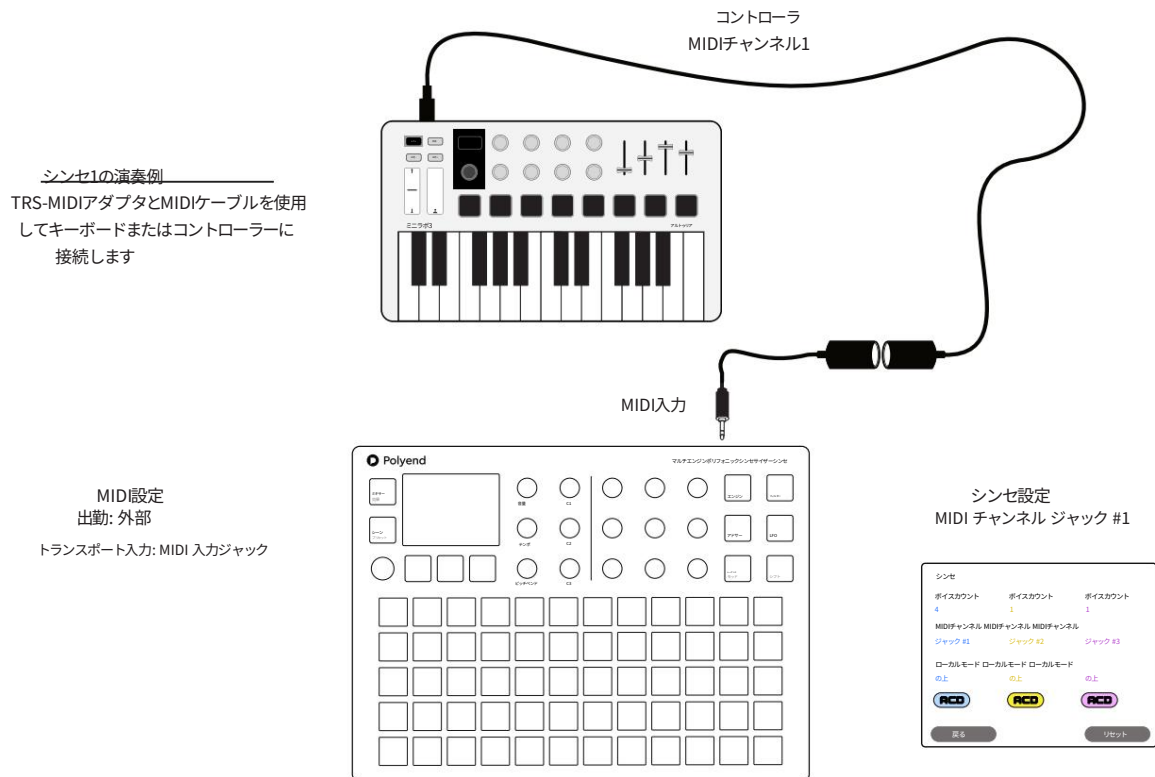
MIDI 構成設定はメイン メニューにあります。(画面) ノブを押してメニューを開き、(画面) を回して「MIDI」をハイライト表示します。押して選択します。(画面) ノブとボタンを使用して、MIDI サブメニュー内を移動して選択します。

MIDI機能	オプション	説明
出勤	内部、MIDI 入力ジャック、MIDI 入力 USB	マスタークロック制御を割り当てる
輸送イン	オフ、MIDI 入力ジャック、MIDI 入力 USB	輸送のマスターコントロール
退勤	オフ、MIDI 出力ジャック、MIDI 出力 USB	クロック出力オプションを選択
開始を待つ	オフ、オン	外部トランスポート入力コントロールのオフまたはオン
コントロール変更マッピング	様々な	パラメータページからターゲットオプションを選択します
プログラム変更マッピング	様々な	リストからターゲットオプションを選択してください

シンセの基本

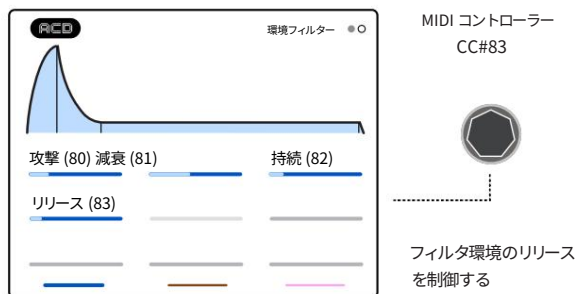
MIDI アプリケーション

シンセは外部 MIDI コントローラーで制御して、ノートやコードを演奏したり、CC (連続コントロール変更メッセージ) や PC (プログラム変更メッセージ) を使用してパラメーターを変更し、シンセのプリセットを選択したりできます。



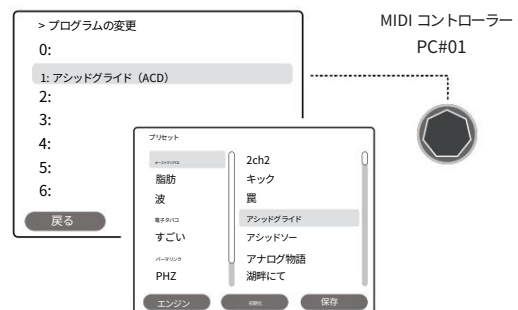
CC コントロールの変更

MIDI コントローラーのノブまたはフェーダーを使用して、Synth のパラメーターを変更できます。ノブの MIDI コントローラー CC 設定を Synth のマップされたパラメーターに設定します。マッピングは、MIDI メイン メニューのパラメーターに表示されます。(画面) ノブを回すと、() 内の CC 番号が表示されているページが切り替わります。



PCプログラムの変更

MIDI コントローラーのノブまたはフェーダーを使用して、シンセのプリセットを変更できます。これは、MIDI 設定の「プログラム変更マッピング」オプションを使用して設定します。プリセットを PC 番号に設定し、MIDI コントローラーを設定してこの PC メッセージを送信します。(画面) ノブを回して移動し、(画面) を押して選択します。



シンセの基本

その他の設定

注記

メインメニューの設定については、機能固有のセクションで説明しました。Synth のグローバル動作に関するその他の一般的な設定も、メインメニューで利用できます。



メインメニューを開くには、(画面)ノブを押します。メニューをスクロールして移動するには、(画面)を回します。強調表示されたオプションまたはサブメニューを選択するには、(画面)を押します。

回して「設定」を強調表示し、(画面)ノブを押して選択します。

[画面] ボタンを使用すると、メニューに戻ったり、オプションを選択したりできます。

設定	説明
グリッド感度	ノートを演奏する際のグリッドパッドの感度を制御するさまざまな設定。個人の好みに合わせて調整します。
アフタータッチモード	オフ、中間、遅延。
ピッチバンド範囲	ピッチバンドノブを調整するときに適用されるオクターブ +/- 範囲。
ピッチバンド速度	スピードはピッチバンドノブの動作を調整します。センターに戻る速度に影響します。0 に設定すると、「センターに戻る」は無視され、ピッチは公称値に設定されます。
アイドル時にワークスペースを保存	アクティビティが検出されない場合、Synth の状態を自動的に保存します。
USBストレージモードに入る	Synth を USB マスストレージモードにします。これにより、USB 経由の PC/Mac 接続で Synth とその SD カードを外部ドライブとして認識できるようになります。
ファームウェア	ファームウェアのバージョンとビルド。ファームウェアを更新するオプションもあります。

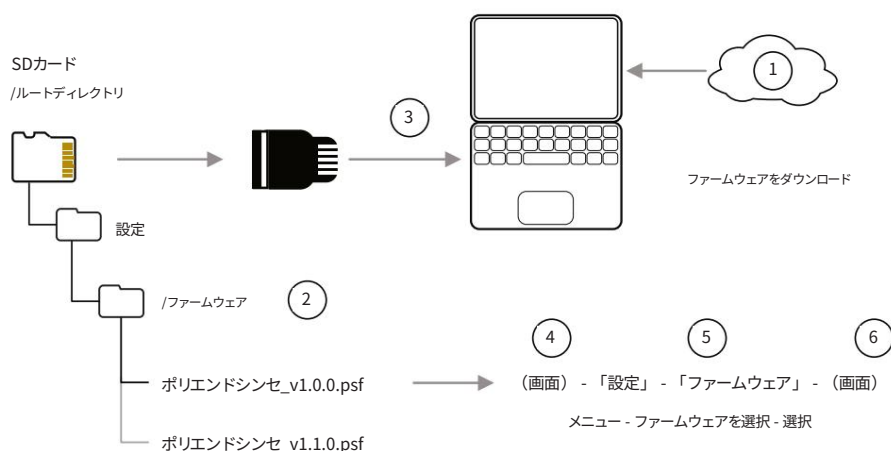
注記

ファームウェアアップデート

バグを修正したり、新機能を追加したりするために、Polyend からファームウェア アップデートが随時提供されることがあります。アップデートのプロセスはいくつかの方法で実行できます。アップデートを実行するときは、各アップデートに付属する Polyend の指示に従うことを強くお勧めします。ここでの指示は一般的なガイドにすぎません。

■ ファームウェアアップデート

- 最新のファームウェアをダウンロードします。デバイスのファームウェアアップデートにアクセスします。Polyend に登録したアカウントから。
- ダウンロードした.psfファームウェアファイルを/Firmwareフォルダにコピーします。SD カードのルート ディレクトリにあります。
- SD カードを Synth に挿入し、電源を入れます。
- (画面)ノブを押して構成と設定メニューを開きます。
- メイン メニューをナビゲートします。「ファームウェア」サブメニューは、「設定」メニューの下にあります。「ファームウェアの更新」機能を開き、インストールするファームウェア バージョンを強調表示します。
- (画面)、ノブを押してファームウェアを選択します。
- 画面に「はい」または「いいえ」の確認を求めるプロンプトが表示されるので、画面の左側のボタンを使用して確認します。続行するには、[はい] を押します。
- ファームウェアがインストールされ、画面に表示されるプロンプトに従って操作します。インストールプロセスは通常 1 分未満です。
- Synth は自動的に再起動します。再起動しない場合は、更新が 100% 完了した場合にのみ、オン/オフを押して手動で起動します。



シンセの基本

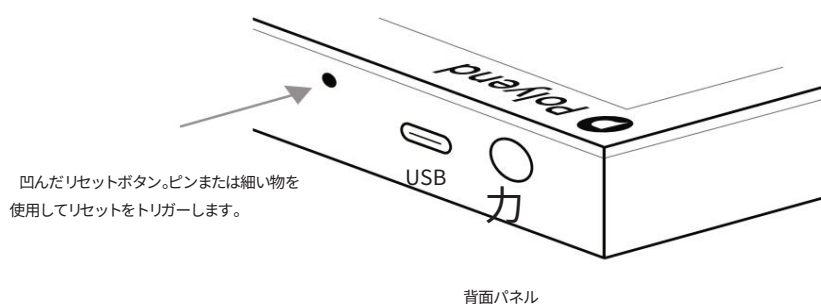
緊急ファームウェアアップデート

注記

登録したデバイスのファームウェア アップデートは、Polyend ポータルから入手できます。緊急時のために、背面パネルの裏側にリセット ボタンが用意されています。リセットは、更新方法に問題がある場合や Synth の問題を解決するために実行できますが、更新の通常のプロセスとして使用しないでください。

■ シンセとファームウェアのリセット

1. 最新のファームウェアをダウンロードします。デバイスのファームウェアアップデートにアクセスします。Polyend に登録したアカウントから。
2. ダウンロードした .psf ファームウェア ファイルを /Firmware フォルダにコピーします。これは SD カードのルート ディレクトリにあります。また、以前の更新ファイルがファームウェア フォルダに残っていることを確認します。
3. SD カードを Synth に挿入します。
4. ピンまたは細いものを使用して、内部リセット ボタンを押します。このボタンは、デバイスの背面、ケースの裏側、USB 接続の隣にあります。
5. Synth はリセットされ、SD カード上のファームウェアフォルダを検索します。Synth を動作状態に回復するために、ランダムなファームウェアが選択され、インストールされます。インストール プロセスは通常 1 分未満です。



リセットオプションは、Synthでロックアップやフリーズが発生した場合に役立ちます。このような状況では、新しいOSをダウンロードする必要はありません。/

ファームウェア フォルダー。こうすることで、問題が発生した場合に手順 4～5 を実行でき、既知の状態からランダムに更新が実行されます。その後、メイン メニューで手動で更新して最新バージョンを選択できます。問題が解決しない場合は、SD カードから「ワークスペース」フォルダーを削除してから更新してみてください。

シンセの基本

著作権 © 2024 ポリエンド

無断転載を禁じます。本書またはその一部は、書評での短い引用を除き、出版社の明示的な書面による許可なく、いかなる形でも複製または使用することはできません。

イギリスで生産

2024年10月 - Synth OS 1.00 マニュアル a

ホームページ

シンズドッグ

